

私立高校入試は公立に向けての前哨戦

2月10日(金)～実施される国私立高校入試。附属池田高校をはじめとして国私立高校志望の専願者にとっては、これまでの学習の成果を最大限発揮する時です。今年は特に体調を整え、自信を持って受験してくださいね。15日(水)は公立推薦入試。特に学力検査の点数がいちばん肝心。面接は自己アピールの場と考え、「ゆっくり・はっきり・大きく」自分にしかない個性を存分に伝えきるようにしてください。また、私立高校受験が併願の人は、公立高校入試の前哨戦です。人生初の入試は独特の緊張感が漂いますが、しっかり勉強して来た人は焦る必要が全くありません。「受験番号・時間・自信の【3J】」をしっかり意識できていれば大丈夫です。結果については志望コース通りの合格ではなくても、言い訳は考えずに「現段階での実力」と認識すべし。最後の最後に幸運と実力は残しておきましょう。〔野垣勝彦〕

1月・2月のおもなスケジュール		
1/28	土	入試直前中3保護者会・数学検定 中3入試突破ゼミ【月3回】
29	日	自習室開室(12:00~18:00)
2/4	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
5	日	自習室開室(12:00~18:00)
6	月	新年度クラス発表【予定】
10	金	私立高校入試日
11	土	建国記念の日【授業あり】 中3入試突破ゼミ【月3回】
12	日	自習室開室(10:00~18:00) ロジックラボ体験会
15	水	兵庫県公立推薦・特色入試日
18	土	中3入試突破ゼミ【月3回】 学年末直前ゼミ・数学検定
19	日	自習室開室(10:00~18:00) 愛すスケートツアー
20	月	兵庫県公立推薦・特色合格発表
23	木	天皇誕生日【授業あり】
25	土	2022年度授業終了 公立直前ゼミスタート

無駄と遊び

近年は、コスパ・タイパに代表されるように「無駄」を極限まで省いた生き方が求められるようです。本なら要約だけ読む、映画なら紹介動画だけ見る、小説ならあらすじだけ読むなど…。たしかに実際にその作品を体験するより短い時間で中身を「知っている」状態にはなれます。しかし、そうやって「無駄」を省いた中に自分にとっての体験は残っているのでしょうか。勉強やトレーニングであれば適切な方法で無駄を省くのはとても大切なことです。明確な結果が出ますから。一方で芸術や体験では何かが残らなければそれぞれ無駄になります。それらに時間をかけることを「無駄」だと感じるなら、自分の人生そのものを無駄にしてしまいます。〔金子祐太〕



年末の中3『絶対合格感動合宿』のエンディングシーン。「2023年もがんばるぞ」で締めくくりました。

12月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 下村奈都 171.0 時間
- ★高校生の部
高3 薮下真帆 173.0 時間

以心伝心と思いやり

ある老舗の旅館で1人若い仲居さんが、お客様を駐車場まで走りながら誘導する映像が紹介されました。その旅館に宿泊するお客も、見ている側も暖かいものを感じます。授業終了後、バスの見送りの際、塾バスや送迎車の中から大きく手を振りかえしてくれる生徒がいます。これも心地よい、非言語のコミュニケーションです。これからもこうした行いを大切にしていきたいものです。〔澤井伸一〕

3/4(土)より新年度の授業がスタートいたします。それに伴って、3月分学費と合算して新年度教材費をお振替させていただきます。後日教材費一覧を配布いたしますので、今しばらくお待ちください。

2月分
学費の振替
1月27日(金)

愛情のエッセンス

以前に経営していた塾での話。遠征イベントの帰り道に、隣の市の某大手ハンバーガー店で参加者と食事中に、向かいの席の生徒が唐突に、「先生、ここのハンバーガーおいしくない」と言い出したことがありました。私は思わず、「チェーン店なのだから、味はどこも同じはず」と返しましたが、その子は頑として承知しない。他の生徒まで「確かに、三田店の方がおいしい」などと言いつつ始末…。その後、気になって作り方を調べたのですが、やはり全国のどの店も同じマニュアル通りに調理しているらしく、結局、その原因究明は迷宮入り…。

ところが昨年の上野五輪で、“ロボットが100%調理した選手村の料理がおいしくない”という報道を知って、何か手がかりをつかめたような気がします。その前の年の東京五輪では、日本人が調理した選手村の料理が世界中の選手から「最高においしい!」と称賛されたのに、レシピに完全忠実にロボットが作った料理は悪評を受けた理由。そして、隣市のハンバーガーがおいしくない理由。それは、一番大事な『愛情のエッセンス』が欠けていたということではないでしょうか? 料理を、科学や素材の力だけで片付けてはいけません。有り合わせの具材でも、『おふくろの味』は最高にうまかった! 教育も同じであると、私は考えています。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言

いよいよ入試本番の時期に突入しました。特進館学院では何が何でも志望校に合格するため特別授業や合格祈願・入試予想など、あらゆる手段で受験生をサポートしていきます。当日、「〇〇しておいたらよかった」とか絶対言わせたくないの。

編集後記

陸上競技でも駅伝がメインになるこの季節、子どもたちの学校でも長距離走の時期になってきました。小学校の頃は学校のグラウンドを走ることもあれば、学校近くの農道を走ることも。同じ距離でも、校庭を何周もするより景色が変わる外周を走るほうが気持ち的に楽だと言って、それほど嫌がっていませんでした。中学・高校になるとひたすらグラウンドを走り、距離も長くなったためしんどく感じるばかりのようで…長距離走がある日は朝からご機嫌ナメなことが多いのですが、お正月に丸くなった体にはちょうどよいのではとひそかに思っています。